



平成31年3月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 プ ラ ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 河 合 達 明  
(コード番号：2424 東証・名証一部)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 河 合 智 行  
管 理 本 部 長  
(TEL 052-446-5338)

### 平成31年7月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成30年9月13日に公表いたしました平成31年7月期第2四半期累計期間（平成30年8月1日～平成31年1月31日）の業績予想と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成31年7月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異（平成30年8月1日～平成31年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,703	303	309	185	32.57
今回発表実績 (B)	4,753	161	172	106	18.66
増減額 (B-A)	50	△142	△137	△79	
増減率 (%)	1.1	△46.9	△44.2	△42.7	
(参考) 前期第2四半期実績 (平成30年7月期第2四半期)	4,543	270	277	164	28.82

#### 2. 差異が生じた理由

第2四半期累計期間におきまして、売上高につきましては概ね計画どおりに推移しましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益は、いずれも前回発表予想を下回りました。台風被害により複数店舗において想定外の修繕費を計上した影響もありましたが、10月のドレスショップ新店開業に伴う衣裳購入を当初計画より充実させたこと、既存会場への設備投資、HPリニューアルやゼクシィ出稿量等広告費の強化など、集客力向上と受注体制の強化に経営資源を投下したことで販管費が大きく増加し、各利益において当初の予想を下回る要因となりました。しかし、当該コストは将来の売上に貢献するものであり、その効果として、受注数が増加する成果を上げております。

なお、現段階において通期の業績予想に変更はありません。今後、修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

以上